

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp<https://jhu-wing.main.jp/>

6月11日 都内キャラバン報告

JAL 本社前 林立する「幟」

5月の都内キャラバン（国交省前とJR3 駅頭宣伝）に続き、6月11日、JAL 争議の早期全面解決をめざす実行委員会の主催による2回目の都内キャラバン（JR3 駅頭と JAL 本社前宣伝）が行われました。

JAL は続く安全トラブルで5月24日に国交省から「厳重注意」を受け、このキャラバン当日に「再発防止策」を提出したばかりでした。その内容には具体的な対策がなく、現場に精神論を押しつけるものとなっています。

参加者は、これで真の安全が取り戻せるのか、新経営陣がモノ言う労働者を解雇した反省に立ち、争議解決を決断するよう求めました。

日差しが強く気温も上昇する中、多くの方々に参加して頂き、有難うございました。



JR 水道橋駅西口

JR 四谷駅麹町口



JR 新宿駅東アルタ前



JAL 本社前には、株主総会を控え、全面解決を求める大勢の支援者が集結しました。本社内からは、労務担当部長をはじめ大勢の社員が行動を監視し、異様な雰囲気でした。



JAL 本社前



「JAL 不当解雇撤回闘争支援東京連絡会」からも共同代表の奥山さんが連帯挨拶をされ、新たに共同代表になって頂いた専修大学の兵頭淳史教授のメッセージが紹介されました。